

日本初の産学共同プロジェクト 中長距離陸上競技の記録会「第1回センコーチャレンジ」を開催

5月1日、中長距離陸上競技記録会「第1回センコーチャレンジ」が、立命館大学びわこ・くさつキャンパスのクインズスタジアム（滋賀県草津市）で開催され、全国から100名を超える女性アスリートランナーが参加しました。

この記録会は、立命館大学体育会男子陸上競技部・女子陸上競技部、滋賀陸上競技協会とセンコー女子陸上競技部との共同で開催され、民間企業が大学と共同で開催する女子中長距離陸上競技の記録会としては日本初の取り組みとなりました。

記録会とは、ランナーが自己公式タイムの記録を目的に参加するもので、陸上界の多くの大会では標準タイムをクリアすることが参加条件になっているため、記録会への参加が大会出場へのチャンスをつかむ場となっています。当日は中学生・高校生・大学生・一般の女子ランナーを対象に1,500m、3,000m、5,000mの競技が行われました。

センコー女子陸上競技部では、3,000m競技で丹羽 琴音にわ ことね部員が優勝し、杉山 明沙すぎやま あすな部員が自己記録を更新しました。また、5,000m競技で森田 歩実もりた あゆみ部員と下田平 渚しもたびら なぎさ部員がでペースメーカーとしてランナーのペースを作る役割を果たしました。大会アーカイブ映像は [Youtube](#) で配信しています。

今後も、「センコーチャレンジ」の開催を継続することで、地域に貢献できるスポーツ活動の実践と自己ベストの更新を目指して頑張る女性アスリートの皆さんを応援してまいります。

▼関連 URL : [「第1回センコーチャレンジ」特設サイト](#)

